

[体験] プロジェクションマッピング - クリエイティブコーディングに挑戦する -

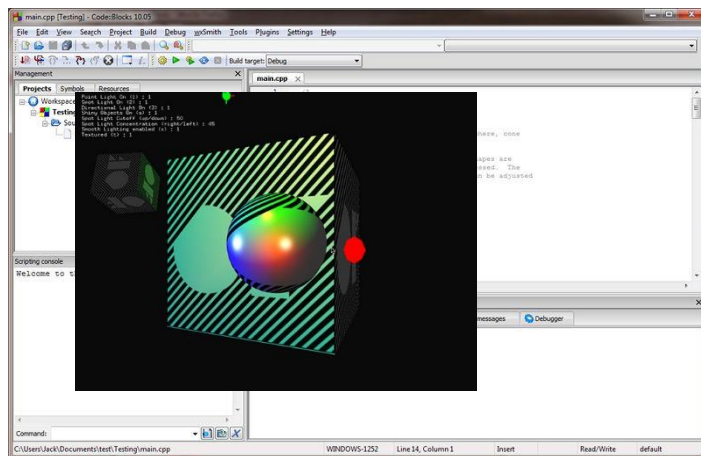
玉川大学 工学部 ソフトウェアサイエンス学科

8月24日(月)開催
詳細はWEBで公開

クリエイティブ・コーディングを通してプログラミングの基礎を学ぶ

玉川大学工学部では、ITに精通し、かつ新しい課題や問題解決のためのプロトタイプをすばやく作成することができ、人を動かすことができるビジョンも持ち合わせているような人材を育成することを大きな目標としています。中でも、問題解決、論理的思考能力の礎として、すべての学科においてプログラミング教育を実施しています。

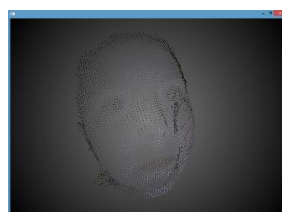
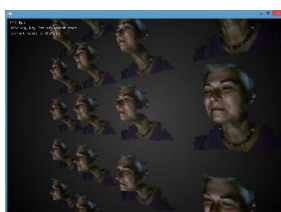
プログラミングの十分なスキルを身に付けることも重要ですが、それ以上に、論理的思考能力を身に付けることを重要視しています。プログラミングは、何かを実現するためのツールであり、思考をプログラム化するためのツールでもあります。我々は、物事を日本語で考え、それを文章で表現するという行為を日常的に行っています。プログラミングは、日本語の代わりにプログラミング言語を使い、文章の代わりにソースコードとして表現することです。大きな違いは、文章では許されるあいまいな表現や省略などが一切許されない点です。そこでは、表現したいことを論理的かつ正確に記述することが求められます。つまり、論理的に物事を捉え、それを論理的に構築する力こそが重要な鍵となります。



講座内容

建築物や物体、空間に映像を映し出す技術は、総称してプロジェクション・マッピングと呼ばれ、実物と映像（リアルとヴァーチャル）を融合させた魅力的な世界観が、世界中で注目を集めています。日本国内でも、東京駅やディズニーランドでの事例を見たことがあるのではないのでしょうか？

本講座では、簡単なプロジェクション・マッピングを実現することを目的に、クリエイティブ・コーディングに挑戦します。クリエイティブ・コーディングとは、アート作品などをプログラムを使って制作することです。クリエイティブ・コーディングのためのツールキットである openFrameworks を使って、プログラムの基礎を学び、自分だけのプロジェクション・マッピング作品を作り上げてみましょう。



openFrameworks のサンプル例